FEPS

FURUKAWA ELECTRIC GROUP

結露防止・調湿ゴムシート

結露を防ぎ、調湿します

# ドライキーパー® Drykeeper®

## 錆の発生を抑制

「結露しない」だから

**筐体が長寿命に**

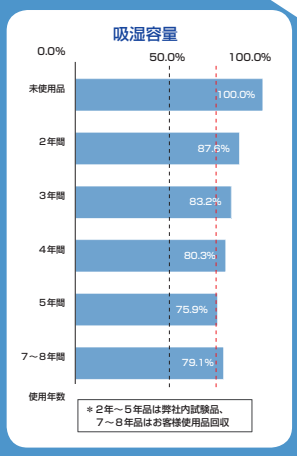
## 電源がいりません

「自然調湿」だから **電気代は0円!!**

## 長期メンテナンス不要

「長期間機能が持続」だから

**交換コストが0円!!**




## 結露が発生しない環境に

「常に安定した湿度」だから

**筐体内のトラブルがありません**

取り付け前の結露の様子

取り付け後の様子

## 設置が自由

「厚さ約2ミリの薄さ」だから

箱内の扉、天井、側面、背面などに

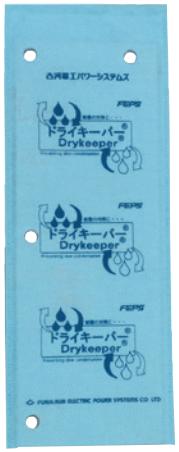
**自由設置可能**

## ドライキーパー製品サイズ

サイズは **4** 種類

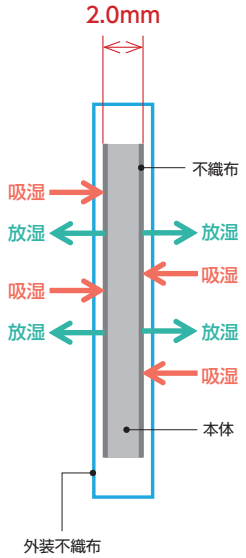
名刺サイズ
(50×100mm)

A5サイズ
(150×210mm)



A5Lサイズ
(105×300mm)

A4サイズ
(210×300mm)



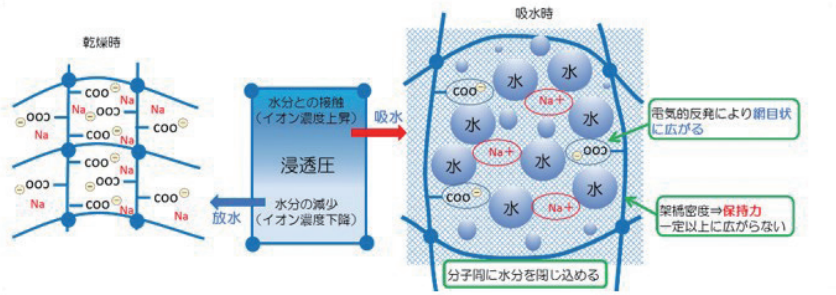

古河電工パワーシステムズ

http://www.feps.co.jp/products/fco/index.htm

# ドライキーパーの吸放湿原理

ドライキーパーは架橋吸水性ポリマーを高配合した非架橋ゴムシートです。

吸湿性は、①水との親和性②浸透圧③架橋密度、により決定されます。水分と接触すると吸水性ポリマー内部のイオン性基（親水性で電離しやすい）の作用により、水分をポリマー内部へ取り込みます。




この取り込む力は、浸透圧※です。
吸水性ポリマーの３次元網目構造によりゴム弾性が働き、バランスの取れたゲル状で安定化します。また、周囲に水分が少なくなるとバランスが変わり、浸透圧により、取り込んだ水分を外部に吐き出すことになります。

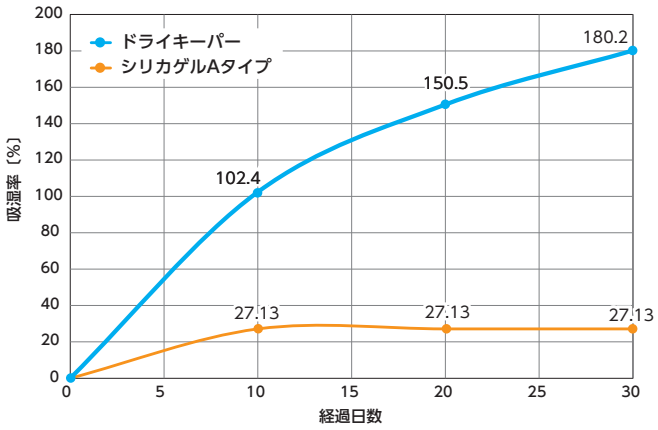
※浸透圧とは、細胞膜で隔てられた濃度の異なる２液間で、濃度の低い方から高い方へ水が移動する力。

# ドライキーパーの効果

## 吸湿性能

一般の乾燥剤と比べて吸湿率（%）が高く吸収性能も大

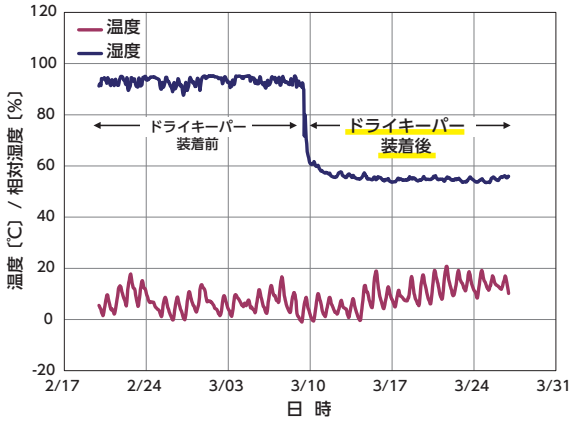
シリカゲルとの吸湿性能比較　常温・99%相対湿度中放置




## 即効性

装着後は相対湿度を飽和点より下げ結露を防ぎます

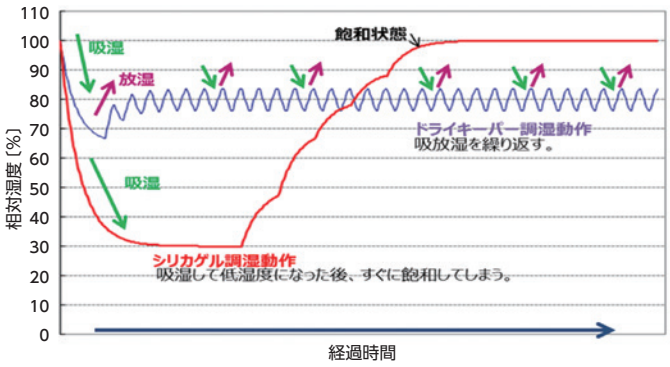
ドライキーパー装着前後の湿度比較




## 吸収能力

ドライキーパーは外的変化に応じて、湿分を吸収したり、放出したりを繰り返すので、長期間使用が可能なのです。

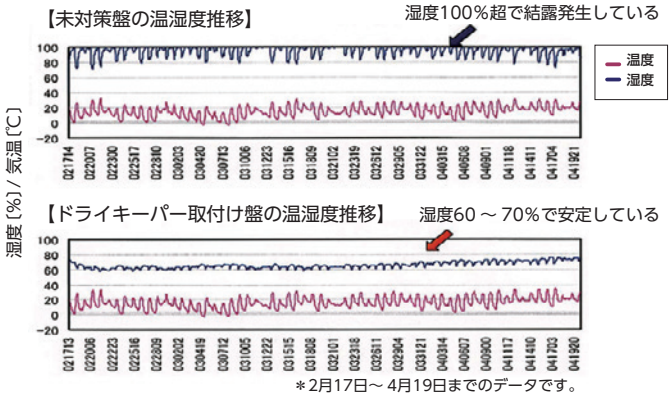
ドライキーパーVSシリカゲル調湿動作イメージ




## 経済性

吸放湿を繰り返すことで長期間湿度が安定し、結露の発生を抑制します。しかもエコ製品ですので一般ゴミとして廃棄可能＝経済的です。

ドライキーパー適用時のフィールドデータ




＊2月17日～4月19日までのデータです。

取扱店

古河電工パワーシステムズ株式会社
開発営業部　第二開発営業課
神奈川県横浜市青葉区あざみ野南二丁目11番16号
〒225-0012　TEL（045）910-2831　　FAX（045）910-2839